

輝け瞳

2024 10月号

《部内資料》

宇治久世教職員組合
宇治市大久保町上ノ山29-1
Tel 0774-44-6191
Fax 0774-44-8026
Mail ujikuse@khaki.plala.or.jp

子どもと教職員の命を守る学校作りを進めよう！

～熱中症予防の視点から教育活動・年間計画を見直そう～

7月～9月は校外学習・運動会・体育大会を行わない

日時	都道府県	活動内容	搬送人数
9月10日	滋賀県	稲刈り(総合)	小学生10人
9月10日	愛知県	体育祭後片付け	高校生15人
9月11日	千葉県	部活動の大会	中学生2人
9月11日	山口県	運動会の練習	小学生12人
9月11日	神奈川県	体育祭の練習	中学生20人
9月12日	神奈川県	運動会の練習	小学生8人
9月12日	鳥取県	運動会の練習	小学生2人
9月12日	高知県	体育祭	高校生11人

7月17日、愛知県豊田市の小学校で、生活科の校外学習で公園に出かけた1年生男児が、学校に戻ってきてから教室で倒れて、熱中症により死亡するという痛ましい事故が起きました。水分を補給し、帽子をかぶり、できるだけ熱中症対策を行っても死亡事故が起きました。なぜ、中止にできなかったのか、悔やまれてなりません。

上の表は9月になってから全国的なニュースで報じられた、学校関係の熱中症による救急搬送人数をまとめたものです。報道はごく一部で、実際にはもっとたくさんの事案があると推察されます。多くの子どもたちが命の危険にさらされているのです。

宇治、城陽、久御山のほとんどの学校には、WBGT測定器が置かれています。日本スポーツ協会の「熱中症予防のための運動指針」によると、WBGTの値が31を超えると「運動は原則禁止」であり、「特に子どもの場合には中止すべき」とされています。

皆さんの職場でも運動禁止の日が続き、“運動会の練習ができない”“このままでは間に合わない”“休み時間も外遊び禁止で子どもにストレスが”と心配や焦りやがあったことと思います。

教職員の命も危険にさらされている自覚を持とう

9月、学校現場では、教職員が炎天下で運動会や体育祭の指導をしています。

右の表は、日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver.4」からWBGTの値が

暑さ指数 WBGT	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 31以上	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
嚴重警戒 28以上31未満		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。

28以上の部分を抜粋したものです。(環境省のHPより)「すべての生活活動で(熱中症が)おこる危険性」があり、予防のためには「炎天下を避け」「涼しい室内に移動する」ことが大切だと記されています。学校現場の実態と全く違います。

タイミングを逃さず、今、声を上げることが重要です

- ▶これから、各職場で運動会や体育大会のまとめ・総括が始まります。先生方、一人一人がこの間感じておられる熱中症予防についての課題を交流し、今、声を上げることが重要です。
- ▶年間計画作成の段取りは、今年度のをベースにして、年内に来年度の年間計画の骨組みを作り、年明けに職員に提案して細部を詰めるのが普通です。
- ▶仮に、運動会や体育大会の開催時期を移動するとなれば、修学旅行や林間学習など他の行事とバッキングがおこるでしょう。また、学校によっては、地域行事との調整が必要になるかもしれません。年間計画を大きく変更することは、それほど大変なことだと理解しておく必要があります。
- ▶だからこそ、各職場で、今、声を上げ、早め早めに議論を重ね、管理職の先生方の力もお借りしながら、熱中症予防を最優先にした年間計画を作っていきましょう。
- ▶様々な困難が予想されますが、各職場でどうしても一致してほしいことは…

子どもや教職員の命より大事な教育活動なんか無い！

- ▶このままでは、いずれ命に関わる事故につながる…そういう危機感を持って、子どもと教職員の命を守る学校作りを進めていきましょう！